

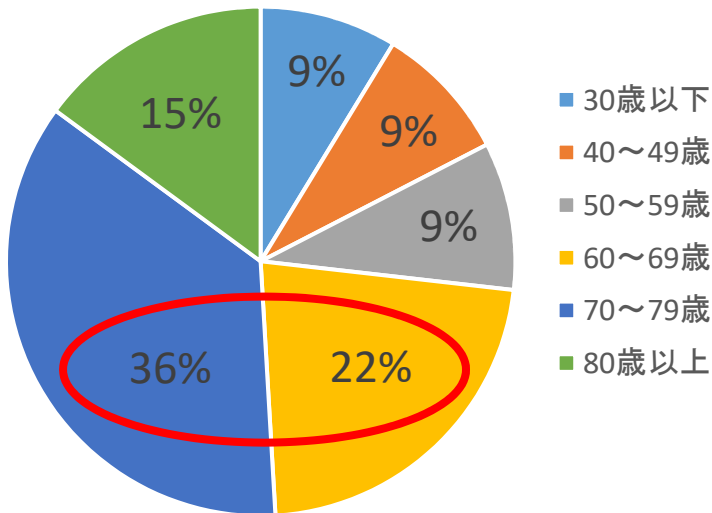
ヘルステックを核とした健康まちづくりプロジェクト各種実績等

モビリティを活用した予防サービス事業

○ 令和5年度は、市内の関係部署、民間企業や地域住民と連携し、公共施設や商業施設などで45回開催し、962名に御参加いただきました。

このほか、市内の高校で、講演会を開催するほか、人が多く集まる機会（期日前投票や確定申告など）や、健康関連イベントにも積極的に出展し、地域住民の健康意識の改善等を図りました。

年齢別参加者割合

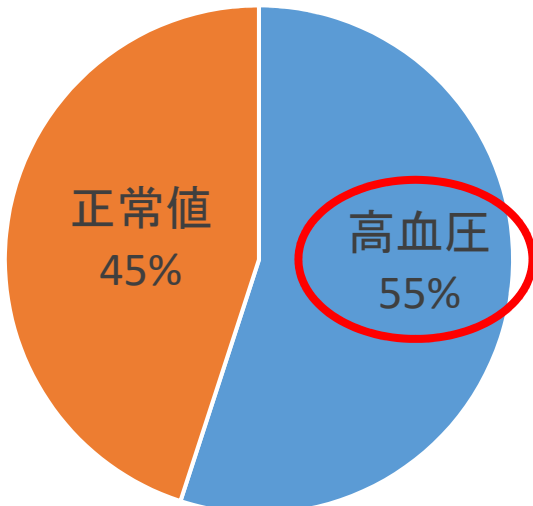


参加者内訳

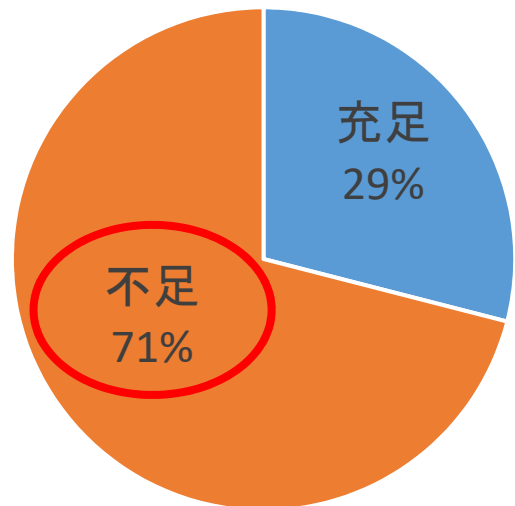
- ・参加者は70歳代がメイン、次点で60歳代であった。
- ・約6割が高血圧であった。
- ・約7割が野菜不足であった。



高血圧の割合



野菜不足の割合



参加後

- ・このようなイベントが定期的に行われると願っています。健康、体力維持していきたいと思っています。
- ・気軽に参加できる内容で短時間でしたが、充実した時間が過ごせました。ありがとうございました。
- ・毎日運動することを心掛けているが、その効果が出ているかどうかを知る機会がないので、このような機会があると嬉しいです。

ヘルステックを核とした健康まちづくりプロジェクト各種実績等

IoTを活用したみまもりサービス事業

- 令和5年度からは、病院や訪問看護ステーションと連携し、在宅医療を受けられる方(高齢者の看取りや心疾患、ALS患者、医療的ケア児など)に対し、医療機器等を活用して遠隔による見守りを実施しました。(下図参照)

【実証期間】 令和6年2月中旬から令和7年2月まで

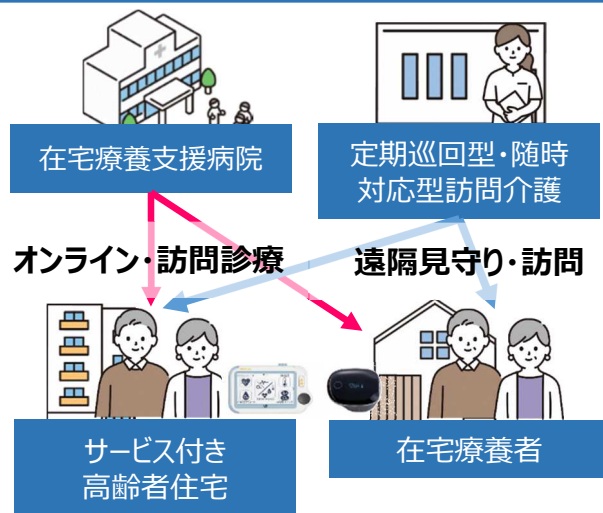
実証①

在宅療養支援病院
+ 定期巡回型
+ サ高住利用者・在宅療養者

Point 導入後

医療従事者に24時間・定期的に、バイタル共有をしていることで安心感が得られる。

【在宅療養者コメント】



実証②

在宅療養支援病院・診療所
+ 訪問看護ステーション
+ 在宅療養者・有料老人ホーム利用者

Point 導入後

・遠隔見守りにより救急搬送要請が減少した。

【訪問看護事業所】

・救急搬送が激減した

【在宅療養支援病院】

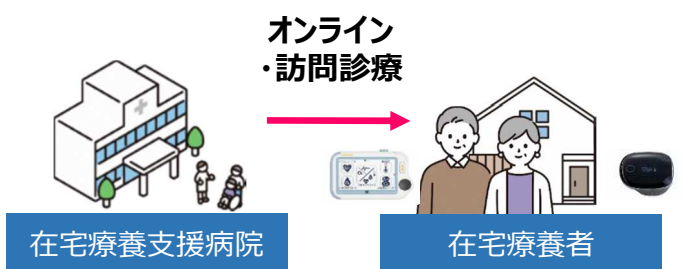


実証③

在宅療養支援病院 + 在宅療養者

Point 導入後

入院から在宅療養に変わったが、これまでより在宅療養者サポートに対する負担軽減が図られている。【在宅療養支援病院】



訪問回数の減少

体調変化の見える化

救急搬送の抑制

ご家族の安心感